

# 東京

「其の日」暮らじ

＝ドイツ編＝



アドベントカレンダー

ここ最近朝晩どころか日中も深い霧が出ていたり曇っていたりしています。長年ここに住んでいる友達は「この天気が続くと鬱になる人が増えるのよ・・・」とポツリとつぶやいていましたが、私にとってはドイツに住む前に想像していたよりもヨーロッパらしい天気なので、「これぞヨーロッパ！」と一人で満足しているところです。

冬になると、クリスマス前の季節です。花屋さんにはクリスマスリースのような物が飾られています。これは壁に掛けるのではなく「アドベントクラウン」と言ってアドベントの期間中リースの上に4本のろうそくを立てて一週目は一本だけ火を灯し、二週目は二本、というように週ごとに灯す本数を増やしていくのだそうです。といっても我が家には飾っていないのですが。。。こちらに来るまでアドベントという言葉は聞いたことがありませんでした。カレンダーを見ると1・Adventから4・Adventという表示が入っています。ドイツではキリスト教が浸透しているので祭日というほとんどそれにちなんだものなのです。アドベントとは、待降節・待臨節といいイエス・キリストの降誕を待つという意味から、クリスマス前の4週間前の日曜から始まります。今年は十一月二十七日から始まります。間接照明の多いドイツでは電気の光を落として、ろうそくの光でゆっくりと寛ぐということも多いらしく、部屋をほんのり暗くしてアドベントクラウンに灯をともす。素敵な気がしますが、私がそれよりも楽しみにしているのがアドベントカレンダーです。去年少し紹介しましたが、十二月一日から二十四日まで小窓があつて一日一つずつ窓を開け中に入っているチョコやおもちゃ、ビールを楽しみながらクリスマスを待つカレンダーです。去年は我慢したこのカレンダー。今年は友達からお土産としてもらったチョコレートが入っている物と、自分で買った二十四種類のお茶を毎日楽しめるアドベントカレンダーティーがあります。ハーブティーや紅茶、中国茶までの二十四種のお茶にはそれぞれ名前が付いています。最初は普通チョコレートが入



っているアドベントカレンダーにお茶の種類と書いて辞書を引いてみると「ちぢんぷいぷいのお茶」や「小さい幸せのお茶」「暖炉の火のお茶」など楽しんで飲んで貰おうというネーミングなのでしょうが私は「普通のハーブティーの名前のほうがわかりやすいのに」と不届きなことを思いながらも、どんなお茶が楽しみにしているのです。

PUKIPUKI・N



チョコレートが入っている  
アドベントカレンダー

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株)ファッションビジネス・御堂筋新聞